

平成28年2月12日(金) 14:30~16:00

於：会議室

① 校長挨拶

- ・ 3学期を迎え、2年生の修学旅行も済み、3年生も授業が終わり進路も決定していている。
- ・ 皆様の提言を頂戴したい。

② 会長挨拶

- ・ 平成28年度学校経営計画について各委員の方々からご意見をいただき、学校を盛り上げていきたい。
- ・ 40周年記念式典にも参加させていただいたが、良い式典であった。

③ 出席委員・事務局紹介

山田 博 氏
猪俣 健一 氏
中山 武彦 氏
水口 和恵 氏
山東 陽一郎 氏

寺脇 久人・川瀬 治彦・中原 浩育・星野 恵美・安田 寛
上柴 克・三宅 史朗・中山 泰・三木 裕子・酒井 浩平
北岡 深雪・新延このみ・杉田 芽衣
沖殿 佳祐・楠本 拓実・重野 金美

④ 報告

ア 進路指導関係

○ 進路状況

<38期生内定状況(2月5日現在)>

- ・ 進学については、ほぼ例年通りの状況。
 - ・ 就職については、かなりの人数が内定をもらっている。
 - ・ 今年の傾向としては、多くの人数が一つの企業の内定をもらっている。
- 今年は、卒業生が多く、その中での就職が109名で、就職内定率が高い。
求人票は昨年と比較して1.5倍、ただし、本校の就職希望者も1.5倍にはなっている。
未定の生徒は、現在も就職活動中。

イ 学校の近況等

○ 7月~2月までの「イズトリだより」を使っの説明

第2回オープンキャンパスでは、初めてクラブ体験を実施した。

ウ 平成27年度授業アンケート結果の報告について

○ 教科ごとのアンケート結果より

年2回実施

座学と実技の2つ質問パターンがある。

エ 平成27年度学校教育自己診断分析結果について

H25~27年度の経年変化

- ・ 保護者対象
「高校生としての学力が子どもについてきている。」6.1%増(昨年度比)
全体的な評価は、あまり変化がない。
- ・ 生徒対象
「教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い」 5.2%増(昨年度比)
- ・ 教職員対象
「各教科で、年間の学習指導計画について、十分に検討し、授業計画を立てている」
13.4%増(昨年度比)
「本校の進路実績を把握している」 24.1%増(昨年度比)
二極化の傾向が見られる。

オ 平成27年度学校経営計画(報告)

- 1 確かな学力 ⇒昨年度と変わらず。
- 2 安全安心な学校 ⇒保護者の数値が下がっている。
- 3 将来の生き方デザイン ⇒教員の数値は上がっているが、生徒の数値は下がっている。
- 4 教員の育成(資質向上) ⇒授業見学等が増えた。

報告に対しての質問等

【協】「スポーツフェスティバル in 泉鳥取」の勧誘方法は？

A 顧問を中心に行っている。

【協】結果は中学校に発信しているのか？

A 岸和田より以南の中学校に「イストリだより」で発信している。

【協】生徒を集めるためには、広げていってはどうか。

部活動を活発化するのは大きな宣伝になる。

⑤ 協議事項

平成28年度学校経営計画について

1 めざす学校像

生徒の持てる力や可能性を最大限伸ばす「生徒が主役の学校」をめざす。

- 1 地域やグローバルな世界で「生き抜く力」の基となる確かな学力を育む。
- 2 安全で安心な学習環境のもと、お互いを尊重し、自尊感情を育む。
- 3 将来の生き方をデザインし、自ら学び続けることができる生徒を育む。
- 4 自ら学び続ける教師集団を育む。

2 中期的目標

1 「生き抜く力」の基となる確かな学力を育む。

(1) 「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」生徒のやる気を引き出す

全教室にプロジェクターを設置できるようにしたい。

(2) 生徒の「多様な学び」を保障する

英検受検者を増やしたい。

2 安全で安心な学習環境の維持と自尊感情の育成。

(1) 安全安心で「生徒が主役」の学校生活

生徒を丁寧に見ていきたい。

(2) 多様な体験活動の提供と達成感で自尊感情と規範意識を高める

クラブ加入率を上げたい。

生徒に行事を運営する力をつけたい。

遅刻を減らしたい。

(3) 学校施設等の諸条件の整備と防災教育

継続して改修を続けていく必要がある。

3 将来の生き方をデザインし、自ら学び続けることができる生徒を育む。

(1) キャリア教育プランの実行

1年生より進路指導を積み立てていき、進路実現につなげたい。

(2) アセスメントの活用

校外模試をうまくフィードバックしていきたい。

(3) 入学前から生き方プランを考える機会を提供する。

オープンキャンパスやスポーツフェスティバルの参加数を増やしたい。

4 自ら学び続ける教師集団を育む。

(1) 授業改善のための学び合い

子どもに還元できるように教員を育てていきたい。

(2) ミドルリーダーの自覚を促す

【協議委員の方々より】

◇ 学校教育自己診断を見る限り、少しずつ上昇傾向が見られる。

＜学校教育自己診断について＞

◇ 教職員対象

「各教科で、年間の学習指導計画について、十分に検討し、授業計画を立てている」

【協】 当てはまらないとは、どういうことか？

A 自分のことと学校全体のこととの捉え方の違いもあるのではないかな。

「若手教員と先輩教員の交流を定期的実施している」

【協】 具体的にはどういうものか？

A 校内初任者研修の中で、2年目、3年目、4年目の教員とそれぞれの合同研修を実施している。

【協】 校外でもいいが、本音を出せたり、聞けるような場はないのか？

A ある。

【協】 最近の若者は成果のあるものには頑張るが、それ以外には頑張らない傾向があると聞いているがどうか？

A 特にそうではない。

◇ 【協】 ネガティブな部分を見ていく必要がある。

例えば、「奨学金制度について理解している」を先生方は理解しているが、保護者には当てはまらない。

きめ細やかな情報提供をしていく必要がある。

保護者との意思疎通も課題である。

◇ 【協】 「②やや当てはまる ③あまりは当てはまらない」の差はあまりないのではないかな。

生徒や保護者と教員との差に気付いていくべきである。

教員は自分たちはやっているということに陥りがちで、注意すべきことである。

◇ 【協】 机上外から机上への勉強へつなげられたい。

保護者へもっとアピールしていく必要がある。

地域で育てていってもらえるようにもする必要がある。

◇ 【協】 校外への活動は、よくしている。

その活動について、学校教育自己診断の質問項目に入れていってもいいのではないかな。

＜平成28年度学校経営計画について＞

◇ 平成27年度では入っていたが、平成28年度の学校経営計画に入っていないので、

「若手教員と先輩教員の交流を定期的実施している」を入れてほしい。

◇ (2) 多様な体験活動の提供と達成感で自尊感情と規範意識を高める

【協】 ボランティア活動に積極的に参加するようにしてほしい。

防災教育も充実させてほしい。

◇ (1) キャリア教育プランの実行

【協】 「進学者向け講習会」とは？

A 現在も講習は実施しているが、教科に委ねられている。
組織立って、講習をしていきたい。

◇ (3) 学校施設等の諸条件の整備と防災教育

【協】 「進路指導室の充実を図る」とは具体的にどういうことか？

A 生徒の動線に合わせて進路指導室を設置したい。

調べ学習がゆったりとできる部屋を確保したい。

【協】 生徒がよく通る場所に進路指導室を持っていくことは良い。

◇ (3) 学校施設等の諸条件の整備と防災教育

【協】 「合宿等を実施する」合宿を行うのか？

A できればやってみたい。

【協】 近隣の安い宿泊施設を利用してはどうか。

⑥ 校長挨拶

・ 本日のアドバイスを活かしていきたい。